

「保健医療科学」
第71巻 第4号 予告

特集：新型コロナウイルス感染症の教訓—パンデミックにいかに対峙し何を学んだか—（仮題）

新型コロナウイルス感染症に対する日本政府の対応（仮題）	正林督章
新型コロナウイルス感染症に対する地方自治体の対応（仮題）	白井千香
新型コロナウイルス感染症に対する公衆衛生的・社会的対策（仮題）	和田耕治
新型コロナウイルス感染症に対する検査・診断（仮題）	吉村和久
新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制の確保（仮題）	阿南英明
新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種戦略（仮題）	林修一郎
新型コロナウイルス感染症1000日の記録（仮題）	富尾淳

編集後記

残暑が続く中、台風情報も気になるこの頃です。夏の風物詩として「夕立ち」がありますが、近年ではどの時間帯でも突然降る「ゲリラ豪雨」か、激しい雨を降らせる積乱雲が発生し続ける「線状降水帯」の方が耳にする機会が増えました。わが国の総人口が減少に転じた頃から、「人口減少社会」ということばも頻繁に耳にします。本号の特集では、人口減少に直面する集落で、行政や住民の力で生活の基盤となる水供給をどのように維持できるか、財政制度や費用負担、水質の課題まで幅広く取り上げながら、国内外における小規模水供給の維持に関する具体的な方策について、それぞれの分野の第一人者の先生方から丁寧に解説していただきました。今後も安全な水供給を維持するために、豪雨などの気候変動影響だけでなく、人口減少への適応も求められます。打ち水やプールで涼を取るなど、水との関わりが増える時季に刊行される本特集によって、読者の皆様の小規模水供給への理解や関心が深まるきっかけになれば幸いです。

（生活環境研究部 三浦尚之）